

先生各位

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 平成 29 年 9 月 19 日（火）受付分より

《検査要項》

検査項目名称	PD-L1 (22C3) IHC	PD-L1 (28-8) IHC
検査コード	9936	9937
JLAC10	5D597-0000-070-666-49	5D598-0000-070-666-49
診療行為コード	160209750	
検体量	パラフィンブロック	
保存・容器	常温・W	
実施料（判断料）	2,700 点（病理）	
所要日数	9 ～ 12 日	
検査方法	免疫組織化学染色（IHC）	
基準値	設定なし	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にご連絡ください。 ・病理組織検査報告書のコピーを添付してください。 ・非小細胞肺癌を含む組織のホルマリン固定パラフィン包埋ブロックを提出してください。 	

保険収載名称：PD-L1 タンパク免疫染色（免疫抗体法）病理組織標本作製

保 険 注 釈：ア PD-L1 タンパク免疫染色（免疫抗体法）病理組織標本作製は、HER2 遺伝子標本作製の「1」単独の場合の所定点数に準じて算定する。

- イ 本標本作製は、抗 PD-1 抗体抗悪性腫瘍剤の投与の適応を判断することを目的として、免疫染色（免疫抗体法）病理組織標本作製を行った場合に、当該抗悪性腫瘍剤の投与方針の決定までの間に 1 回を限度として算定する。

《解 説》

PD-1 は、免疫抑制性補助シグナル受容体であり、主に活性化した T 細胞に発現します。PD-L1 は PD-1 のリガンドで、腫瘍細胞に発現しており、PD-1 に PD-L1 が結合すると T 細胞の活性が抑制されます。

PD-L1 (22C3)、PD-L1 (28-8) それぞれの対応薬剤は、「ペムプロリズマブ」、「ニボルマブ」であり、これらが選択的に PD-1 と結合することにより PD-1 と PD-L1 との結合を阻害して、抗腫瘍作用を発揮することが可能になります。

本項目は、「ペムプロリズマブ」、「ニボルマブ」投与による治療適否を判断する目的のために、細胞上の PD-L1 の発現状態を検査するものです。